

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年 月 日

グリーンカレッジこどもすぽーつひろば

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		指導訓練室、レクリエーションルーム、体育館等が揃っており適切である。	コロナ渦の状況では、感染症対策(3密)を徹底しており、日々の検温やマスクの着用、うがい手洗いも更に徹底しております。
	2	職員の配置数は適切である	8		児童数と照らし合わせながら職員シフトを作成し配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		施設やルーム内の危険な箇所・危険物は、随時チェックし安全に配慮。情報伝達に関しては、分かりやすい図や絵、顔写真、声掛け等で動線を促す工夫の配慮も欠かさない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		児童が部屋に入る前の手洗いうがい、支援終了後の掃除や消毒も徹底している。利用人数に対しての空間は適切。	コロナ渦の状況では、窓を開けて冷房運転しており、除菌・消毒も普段以上に徹底しております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		朝礼・昼礼・終礼時や定期的にミーティングを行い問題に対し業務改善を幅広く話し合っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		改善すべきところは、都度話し合いを行い、意向に沿えるよう努力をしています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		HPで全て公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3		今後第三者の評価も行い改善につなげていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		社外で行われている研修会などに定期的に参加。※新型コロナによって自粛期間中は研修会など中止になり参加出来ていない。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		半年に1回の面談と、日々の要望等を基にあらゆる角度から児童の可能性や発達段階を確認し、課題となっていることが改善できるような支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		研修等で使用したアセスメントツールを参考にしつつ、各児童の適応行動の状況は職員同士で周知し共有している。	標準化されたアセスメントツールも作成し参考にしている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		児童発達支援ガイドラインに基づいて、日々の経過記録や個別面談での聞き取りで個々に適応した具体的な支援内容を設定している。また、モニタリングに時間をかけて作成し子どもの発達に添った支援を行い、目標達成が出来たら更なる向上を目指す支援内容を作成しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		個々の達成段階に応じて個別の支援を行っている。支援計画書は、支援員全員が熟知し支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		職員全体のミーティングで活動プログラムの立案を行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		毎回工夫を凝らし、レクリエーションや課外活動等をミーティングで企画しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8		個別活動と集団活動に偏りがないよう適宜に組み合わせ、その日の児童の状況や能力に応じてサービス計画を作成しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		予定表を元に朝礼・昼礼時に当日の予定や支援内容を確認し、役割分担を行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		毎日終礼時にミーティングを行い支援中の出来事を確認し業務日誌に記録しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		毎日業務日誌、経過記録を作成しており支援の検証や改善に繋げる為、終礼時に確認し合っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		モニタリング作成の際は、必ず職員間で話し合いをして作成しています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		保護者と面談を行った児童発達支援管理者が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	3		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	3		現在、医療的ケアが必要な子どもは在籍していません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	2	現在、医療的ケアが必要な子どもは在籍していないが、支援中の事故等で連絡が必要とする際は、主治医や協力機関等の連絡先や連絡の順番を保護者様からの申し出で情報を共有している。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2	学校の行事予定を把握し、学校の先生とも情報を共有。連絡も取り合っております。また、担当者会議にて情報共有もしています。	必要に応じて、放課後等デイサービス事業所から各所などへ移行する場合支援内容の情報提供を行える体制にしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		学校への迎え時は必ず担任と情報共有を行います。学校公開授業などにも積極的に参加しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8		児童発達支援センターなどで行われている研修を年に数回受けています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6	2	体操・新体操教室の子ども達と毎日出会う為、挨拶程度で接している。	体操教室の選手クラスの子ともと体操を一緒にする機会を設けています。今年度はまだ行っていません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		8		現在参加する機会はないが、今後機会があれば参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		送迎時や面談の際に、子どもの状況を踏まえ改善の為に提案などその都度行い実際に改善に努めています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	1	年に1回の保護者見学会の後に時間を設け、子どもそれぞれの特性に応じた支援内容の説明と、子どもとの関わり合い方を話す時間を設けています。		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		ご契約時に説明を行っています。	問い合わせの際は、担当が分かりやすく丁寧に説明を行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		個々の面談時に、児童発達支援ガイドラインに基づいて作成した支援内容を分かりやすく説明し、同意も得ています。また、追加の要望を伺ったり連絡帳や電話での対応もしております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		保護者からのご相談には、面談時や送迎時または電話で随時対応し、必要な助言や支援を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1	年1回の保護者参観日や卒業生の参加日を設け、その際に保護者会などを開催しています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		迅速かつ丁寧に対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1	会報の発行はしていないが、行事予定などは毎月の予約表やお手紙にて発信しています。HPIにはタイムスケジュールや活動内容など掲載しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		個人ファイルは鍵付きの書庫に収め、個人情報の取り扱いにも全職員周知徹底しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		バックグラウンドを考慮しつつ対応するよう努めています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	3	保護者見学会を開いたり、卒業生を招き体操やレクリエーションに参加していただいています。	今後、地域住民の皆さんとの交流も検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		防災・感染症マニュアルは常備しています。職員に周知徹底しています。	防犯に関しては今後、周知徹底できるようにしていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		定期的に避難・救出・そのほか必要な訓練を行っています。子どもの出席状況も考慮し、1週間毎日行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	8		契約時に必ずヒアリングを行い子どもの状況を確認しデータ化。職員全体で周知しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		食物アレルギーのある子どもに対しては保護者からの聞き取りで対応しています。おやつや給食などアレルギーのある子どもの表を作成し、おやつのパッケージを毎回確認しております。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		ヒヤリハットを作成した場合、職員全体で共有しております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		定期的に虐待防止のミーティングを行い、部外研修会にも参加している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	1	現在、身体拘束は行っていません。また、身体拘束についてはマニュアルを作成し職員ミーティングも行っています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。